



森ボラ 通信

第38号 2005年7月20日発行
北海道森林ボランティア協会
札幌市中央区南2条西2丁目金市館ビル8F

Tel:241-8155 Fax:241-8308

E-mail:h-shinrin-v@indigo.plala.or.jp

URL:<http://www.geocities.jp/hokkaidoforest/>

■トピックス

◆ブナ林見学第2弾 —島牧編—◆

6月23-24日に行われた島牧ブナ林ウォッチングツアーの参加者は17名。8台の車に便乗し、海コース、山コースそれぞれのルートで昼過ぎに島牧村に集合。青空に白と黒のコントラストが一際美しい狩場山が私達を迎えてくれました。メインのブナ林見学は二日目に。一日目は滝にタケノコに温泉という行程です。

高さ70m、幅35mと道内一の規模を誇る賀老の滝は雪解けの時期で水量が多く迫力がありました。滝の落下地点に間近の展望場所に立って水飛沫を浴びると、体の中が瞬時に浄化される心持ちがします。ブナが混在する滝周辺の木々が伸び伸び豊かに見えるのは、この水をたっぷり吸収

しているからでしょう。展望場所までは約650mほど急階段を降ります。帰りは当然登りとなりますが、皆驚くほど軽い足取りで登り切りました。この元気も水の力かもしれません。でも本当は元気の訳がもう一つありました。滝に向かう途中、腕一杯に極太のタケノコを抱えた人に会いましたが、その時から皆そわそわと落ち着かぬ様子でした。帰途、極太とまではいきませんが食すに耐え得るタケノコは十分に収穫できました。



宿は宮内温泉という山間の小さな宿で、我々だけで定員一杯でした。早速採ったばかりのタケノコを炭で焼き、湯澤さん手作りの山菜料理を着に夕食前から早くも宴会モードです。山中の一軒宿に貸切故気兼ねは要りません。宿のご主人の心遣いで宴会場も一晩中開放され、記憶に強く残るのは花火に照らされた会心の笑みに笑い声。クマやイタチは迷惑したかもしれません。

島牧のブナ林は面積が10,000haを超え、全国一の規模を誇る原生林です。この林を島牧ユースホステルの吉澤さんに案内していただきました。

新緑を過ぎ、濃さを増した初夏の緑です。林床には蝶の羽のようなブナの双葉が彼方此方に見られました。昨年の黒松内同様、よく整備された散策路を辿るルートでしたが、其処だけぽつんと残された黒松内よりも背後に広がる原生林の奥深さが感じられました。また、ちょうど滝の上部に位置する林で、前日見たように一本一本のブナに奔放な伸びやかさが感じられました。ここで気がかりな発見がありました。酒井さんが赤く変色したようなブナの枝先を見つけ、よく見るとそれは尺取虫でした。吉澤さんも驚いていましたので、何らかの気候条件で今年大発生しブナ林に取り付いたのでしょう。「やっぱりいろんな樹種が混生するのが本来的で強い姿」—酒井さんの言葉にはっとしました。これまで純林という美しいイメージばかりでしたが、脆さを孕んでいることには思い至りませんでした。この虫の発生とニセアカシアの侵入状況を注意深く観察しよう吉澤さんをお願いし、お土産用のタケノコを最後に収穫して解散となりました。(柴田記)

※旅費の残金430円は森ボラ会費に入金しました。



◆撫順で友好が芽生える◆

発芽状況確認視察と今後の植栽打合せの為に当協会、高野事務局長と芝との2名で撫順に行ってきました。

2004年最初に市と当協会にご参加下さいました北大名誉教授・工学博士 中島巖氏に委託したオニグルミとエゾヤマザクラ種子、その後同年7月、9月の2回当協会出張者が直接苗床に種子蒔きを実施した。結果2005年4月末ごろ発芽し優・良・可の差異はあったが、約1200～1500本の苗木が7～15cm程に成長しており、市職員および当協会員の愛が撫順市に芽生えたことを深く感謝するとともに嬉しく思います。

撫順市は緑に囲まれた森林都市でありますので、当協会としては緑化事業としての取組みとせず、友好親善の一環としてエゾヤマザクラを双方が役割分担をしながら数年をかけて約1万本の植栽を行うこととする。

その為の当協会の役割として毎年エゾヤマザクラの種子を送付し、年1回程度の確認と業務を実施する方向を調整する。

視察等の詳細は下記に記載する。

記

- 1 日程 2005年6月26日(日)発～29日(水)帰札 3泊4日
- 2 宿泊地 撫順市 中島別宅
- 3 内容 (イ) 26日 到着日。中島別宅にて歓迎パーティー 5名
中島巖氏、畑中孝寿氏、嶋山将志氏
芝、高野
 - ・ 翌日の市職員との打合せ事前準備会となる。
- (ロ) 27日(月)市苗圃に行く。エゾヤマザクラ、オニグルミの発芽を確認。
夕刻は撫順市主催の歓迎パーティ・懇親会 11名
日本側：中島巖氏、芝、高野
市側：6名
仲介者：馬方太氏、通訳
 - ・ エゾヤマザクラ1万本植栽と記念碑建立の件(記念碑文面は中島氏に一任)
- (ハ) 28日(火)瀋陽市植物園の「桜園」視察
「大山桜」約1000本(樹高3mクラス)とダリヤ等での日本風庭園となっている。
夕刻、撫順高周波鑄造有限公司 馬方太氏主宰のお別れパーティー
中島巖氏、畑中孝寿氏、嶋山将志氏、高野、芝
馬方太氏、馬鳳翔氏、衛氏、通訳氏
- (ニ) 29日(水)AM8:05瀋陽発にて帰札



発芽良好



ポットに移植

以上(芝記)

◆神宮の森にりっぱな苗畑◆



7月8日(金)、神宮の森の作業で渡部さん酒井さんと和田さんが自分の庭で育てていた幼木を神宮の苗畑に移植しました。4畝を切り、ミズナラ59本、桜16本、クルミ24本、ヤマグワ2本の合計101本のかわいらしく水々しい幼木を女性軍6人の手で植込みました。ベランダや畑に苗木を持っている方が居りましたら神宮の森苗畑で一緒に育てませんか。この日は雨上がりの清々しい空気の中での作業でした。(西野澄記)

■今月の幹事会

- 1 7月の澄川 ゴミ拾い、薪集め、杭づくり、歩道刈払い
7月の有明 看板移動、植樹記念標識建て、歩道刈払い、下刈り
- 2 8月の作業日程および内容
 - (1) 野幌 畝づくり（伐根移動、刈払い、植付け準備、秋植広葉樹はポット苗で）
 - (2) 神宮 第二苗畑づくり、製材機の活用
 - (3) 有明、澄川は7月作業の状況により9月計画に反映する
 - (4) 西野 倒木整理、ニセアカシヤ萌芽刈（鎌が有効）
- 3 受託作業
 - (1) 北大エルムの森 ハルニレの植樹
北大、CGC、当協会の3者で調整する
 - (2) アイケン工業宅造成（6000坪：野幌の規模） 緑化関連工事
- 4 木工焼印の件
デザイン改良の上、発注
- 5 撫順市新大河苗圃所長に北海道樹木図鑑を贈呈
- 6 新入会員2名
谷崎久男、及川悠子
- 7 その他
7月30日 芸術の森にて「木工手作り製品」見学会（提案：杉本）
出席幹事：加治、酒井、芝、杉本、西野、棟方、村上、事務局高野

■お知らせ

■積丹町との接点 募集！

7月28日（木）積丹町を訪問します。札幌の森林ボランティアが町の要望にどう応えられるかを話し合い、それぞれの現場を確認してきます。幹事を主体に訪問チームを編成しますが、何事にもオープンでありたい会の方針です。ご希望の方の参加を受け付けます。先方に出席者の人数を通知するのが礼儀ですから、申請者は無断欠席なきようお願いいたします。交通手段はバスにします。交通費は会で負担します。

バス時刻表：札幌ターミナル（9：15）→北1西4（9：18）→円山第一鳥居（9：26）→西区役所前（9：32）→西町北20丁目（9：37）→見晴（9：48）→美国（11：25）

■アイケン有償作業 募集！

5月27日に有明第二都市環境緑地で合同植樹を行いました「二青会」の幹事会社であるアイケン工業より、有償作業の依頼を受けました。交流懇親会で話題になったことが、よい形に展開を始めたことを喜びましょう。

7月17日（日）。加治さん、高野で現地を視察し、岩本社長の説明を受けてきました。厚別区青葉町13丁目のゴルフ練習場跡地6000坪（野幌担当区とほぼ同面積）の宅地造成について、約200本の支障木の処理作業を引き受けます。作業期間は8月1日～8月6日までを予定します。ニセアカシヤ、シラカバが主体ですが、樹高15mほどのニオイヒバやイタヤカエデ、ハリギリ、ミズナラ等利用価値のある樹木が数本あります。きれいに手入れの行き届いたイチイの庭園樹が3本あります。これは生かして北海道神宮に移植を試みたいと考えます。片側1車線道路（幅7mクラス）をへだてて、住宅が並んでいますので、その部分では倒す方向を間違えられません。それ以外は手馴れた枝払い、玉切りの作業です。枝葉搬出の積載効率をよくするために、枝は直線的にきざみましよう。参加希望者は8月「作業参加申込書」にて申請してください。

■ニトリ助成金、授与式

ニトリ北海道応援基金に移動式製材機を申請しましたところ、満額の回答をいただきました。159万円です。側面から横山理事長のご尽力をいただいた結果であります。早速実用中の実物を見てきました。製材した板はよい状態なので、風倒木を生かす製材仕事が増えることとなります。北海道神宮に保管場

所を提供していただくことを承諾いただきました。最初の作業は神宮の倒木加工になると思います。8月6日に授与式があります。横山理事長が不在予定のため、酒井代表幹事と高野事務局長の2人が出席し、謝意を表してまいります。

■神宮第二苗畑

北海道神宮の第二苗圃の場所が確定しました。裏境内林のカラマツ倒木跡地で面積は約200㎡、ト字型です。秋蒔きにむけて整備作業を設定します。第一苗圃では育苗が進行し、ほぼ全面使用の状態になりました。

■支笏湖国有林回復支援

国有林は有志企業に支笏湖国有林風倒木跡地回復を呼びかけているようで、セブンイレブンが引き受けることになるようです。窓口となる北海道市民環境ネットワークの依頼で21日に事前打ち合わせ。その後現地を見てきます。過去に二度の助成をいただいているセブンイレブンの事業なので、なにをさておいても協力しましょう。詳細は次号にて報告します。

■ラルズより60万円助成

ラルズの社長は当協会理事長・横山清氏です。ありがとうございました。

キノコ料理講習会（予告）

9月14日(水)―15日(木)、定山溪自然の村にてキノコ料理講習会を行います。講師は我らが博士・湯澤さんです。材料は当日調達の予定です。荒船さんが丹精した澄川の干しシイタケも使います。詳細は次号でお知らせします。

■活動履歴

《活動日》	《活動場所》	《参加人数》	《活動内容》
7/18-20	羊蹄山登山	9	登山レク
7/14	北海道神宮	13	表境内枝葉整理、第二苗圃確定
7/12	野幌森林公園	15	植畝内伐根移動、支竹採集
7/9	西野第二	10	倒木整理
7/8	北海道神宮	20	表境内枝葉整理、裏境内林内整理、苗床メンテ
7/4	野幌森林公園	24	地拵え、畝づくり一次作業終了
7/1	エルプラザ	29	会員例会
6/30	北海道神宮	16	表境内枝葉整理
6/29	野幌森林公園	17	地拵え、畝づくり※山本機械さんよりチップのデモ
6/27	杉本邸	9	木工※靴べら・コースターづくり--秋のフリマの準備が急ピッチで進む。ふくろうマークの焼印もできました。
6/23-24	島牧ブナ林	17	新緑のブナ林観察とタケノコ狩

【今月のリンゴ園】6/21・6/22・6/28・7/2・7/7・7/15・7/16（参加数12・6・9・12・5・11・11）

■コラム

全国紙に記事掲載

林野時報7月号（発行：林野弘済会）の「森林ボランティアの現場から」（62）に見開き2ページで当協会が紹介されました。-18号台風被害修復への関わり-として主に野幌での活動に関する記事となっています。全国の森林関係者に知名度が高まりました。